



明治～大正のころ、逗子に滞在した作家・画家

と、逗子がかかれた作品を知りたい

明治から大正期、別荘地として有名になった逗子には多数の作家や画家たちが滞在し、逗子を作品に登場させてきました。

夏目漱石は小坪での体験を『彼岸過迄』の中に取り入れています。

また、徳富蘆花は逗子に滞在していた黒田清輝に『不如帰』の口絵を頼みました。この顛末は蘆花の小説『富士』に書かれています。

◆そのほか◆

本の情報	請求記号
『逗子道の辺史話 第1集』 逗子道の辺史話の会 1977 ※「永井荷風と逗子」	D 213.7 ス 1
『「湘南の文学と美術」展』 県立神奈川近代文学館[ほか]編集 県立神奈川近代文学館 1993 ※逗子にゆかりのある文学、絵画など多数掲載。	Z 90.A シ
『三浦半島の風土と抒情』 神奈川文学振興会 1988 ※泉鏡花、徳富蘆花、国木田独歩など、逗子にゆかりのある文学、絵画など多数掲載。	P 910 ミ
『目で見える鎌倉・逗子の100年』 郷土出版社 1992 ※明治～大正期の逗子の写真が多数掲載。	P 213.7 メ
『三浦半島文学めぐり 改訂版』 中里行雄編 三浦文化研究会 2007 ※逗子が舞台になっている作品や記念碑などの紹介あり。	P 902 ミ
『逗子案内誌』 高田乙三編輯 群書城 1903 ※明治の逗子の様子や地図、写真など。	Z 29.Z ス
『明治逗子風物詩』 森谷定吉著 モリヤ 2002 ※明治の人が書いた明治の風物を新聞や市誌などから収集。	P 910 モ
『逗子の文学』 森谷定吉著 モリヤ 1987 ※逗子に関する文学作品や作者の紹介あり。	P 910 モ

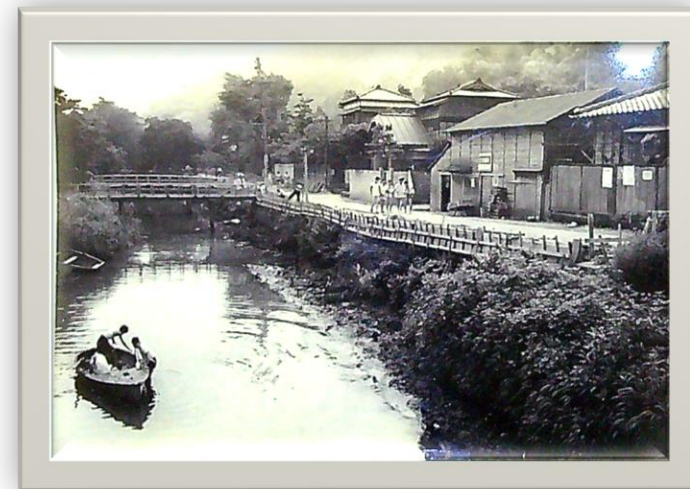
図書館探偵

レファレンス事例 No.10

2021年4月発行

## 逗子の風景

明治～大正



大正初めの田越川 逗子市立図書館所蔵写真

逗子市立図書館

046-871-5998

逗子市に関するレファレンス事例は、逗子市立図書館ホームページで閲覧できます。

<https://www.library.city.zushi.lg.jp>

本の情報	請求記号
<b>夏目漱石</b>	
『彼岸過迄 改版』 夏目漱石著 岩波書店 1990 他所収あり ※P246 さうしてそのまま小坪へ這入る～との記述あり。	S F ナ
『日記及断片』 夏目漱石著 『漱石全集 第13巻』 岩波書店 1966 他所収あり ※P654 八時頃から小坪へ漁に行く～との記述あり。	918.6 ナ 13

<b>里見弴</b>	
『白酔亭漫記』 里見弴著 『時と共に』 毎日新聞社 1973 所収 ※P27 逗子の別荘、白酔亭での出来事が書かれている。	914.6 サ
『私の一曰』 里見弴著 中央公論社 1980 ※P85 「白酔亭宿帳より」P177 「初飛行と大震災」他に逗子の記述あり。	914.6 サ
『木魂/毛小棒大ー里見弴短篇選集ー』 里見弴著 小谷野敦編 中央公論新社 2011 ※P371 「小坪の漁師」に逗子の記述あり。	S F サ

逗子市立図書館に所蔵している本の一部をご紹介します。



本の情報	請求記号
<b>永井荷風</b>	
『冷笑』 永井荷風著 『現代日本文学全集 16』 筑摩書房 1956 他所収あり ※P113 「第二章 蟲の音」は逗子が舞台になっている。	918.6 ケ 16
『断腸亭日記第二十一』 永井壯吉著 『荷風全集 第22巻』 岩波書店 1972 所収 ※P167 昭和十二年五月三十日の日記に逗子を懐古している文が書かれている。	918.6 ナ 22
『断腸亭尺牘』 永井壯吉著 『荷風全集 第25巻』 岩波書店 1973 所収 ※P3 明治三十四年七月二十日 井上精一宛 相州逗子発封書に逗子の記述あり。	918.6 ナ 25
『荷風全集 第26巻』 永井壯吉著 岩波書店 1973 ※P317 「逗子より」と題する黒田湖山(小説家)宛の手紙を収載。	918.6 ナ 26

<b>徳富蘆花</b>	
『富士ー小説ー第1～3巻』 徳富健次郎著 徳富愛著 福永書店 1925～27 他所収あり ※第2巻に『不如帰』の巻頭口絵「浪子」の絵の依頼に関する記述や、義理の甥にあたる画家湯浅一郎に関する記述あり。	Z 93.Z ト 1～3

本の情報	請求記号
<b>黒田清輝</b>	
『アサヒグラフ別冊美術特集 日本編 16』 朝日新聞社 1988-1989 ※「逗子五景」神奈川県立近代美術館蔵。	B 705 ア 1-16
『神奈川を描くー近代日本画・洋画名作展ー』 朝日新聞社 1985 ※「逗子五景」神奈川県立近代美術館蔵。	Z 72.A カ
『カンヴァス日本の名画 5』 井上靖[ほか]編集委員 中央公論社 1979 ※「浪子」「富士六景の内」「湘南の海水浴」など逗子の風景画あり。	B 720 カ 5
『黒田清輝日記 第2巻』 黒田清輝著 中央公論美術出版 2004 ※P525～527 明治32年逗子滞在の記述あり。	723 ケ 2
『黒田清輝日記 第3巻』 黒田清輝著 中央公論美術出版 2004 ※P811 明治45年小坪散歩の記述あり。	723 ケ 3

<b>湯浅一郎</b>	
『生誕150年湯浅一郎』 湯浅一郎画 群馬県立近代美術館編集 群馬県立近代美術館 2018 ※P22 「逗子風景」P23 「海辺逍遙」など、逗子の風景の画あり。	Z 72.Z ヌ
『湯浅一郎一人と作品ー』 染谷滋著 みやま文庫 2020 ※P59 「海辺逍遙」 P90 徳富蘆花と湯浅一郎の関係が書かれている。	Z 72.Z ヲ